

CRAZYBOXは果たして魍魎の匣なのか？

BeFM パーソナリティ しもさき博之

前回の CARAVAN から2年。

WAG が旅から帰ってきた。県の芸術舞台公演への参加や、はたまたマイナーショーへの友情出演等、様々な活動が目立っていたが、やはりWAGの本骨頂はLiveである。その帰還を首を長くして待ち望んでいた。待ちすぎてキリンのようになつたよ。

毎回動員記録を塗り替えているWAGは、いよいよもって2ステージでのLive。昨年12月の青森公演では2daysだったのが、当地では昼夜の2度の舞台となる。当然疲労も2倍。踊れるのか、おねーさん方？（それは余計なお世話で終わるのは目に見えているが）

まず結論から。WAGのDANCEは「JAZZ、ダンス評では「モダン」の流れも感じられる」と述べたが、今回は彼女らの原点である「JAZZテイストを強く感じた。それが何に由来しているのかは判らない。（無責任でスマス）確かに選曲一つ

をみても初期のプラコン系の楽曲が少なくなっているような気はする。WAGの特徴の一つとも言える「笑えるDANCE」も相変わらずではある。しかし、何よりも真っ直ぐDANCEに立ち向かっている印象が強い。気負うことなく、自然体で立っている。

今回の作品群には、ある意味総集編的なところも見受けられた。前回の「いなり寿司フラッシュ」を思い出させる。赤い椅子のダンス、県立美術館でも踊られたいくつもの作品、ヘルスセンター風味の着流し踊り、そして、白いマスクのダンス。今回はその白いマスクを外すシーンがあった。その瞬間、観客席が一斉に息を呑む。しかしその下にはもう一枚のマスク、もしかしてその下には無限の白いマスクがあるのでは無いかと思わせられる。

今回「WAGの怖さ」を感じさせられた作品がいくつもある。WAGは自らの作品を壊しつつく。例として「OVER THE RAINBOW」。美空ひばりの歌声で構成されたその作品は、その歌声から若干のレトロ感すら感じさせ、スローモーションな振り付けがなされている。そ

して踊り終えた後、暗転の舞台にまったく同じ曲が流れる。明転した舞台には白いマスクの怪人たち。同じくスローモーションで動き出す。突き合いが始まる。先の踊りは刺身のツマとされてしまう。

例えば2名からなる優雅なダンス。このまま「モダンですう」と言っても通用しそうな振り付け。しかしWAGはそれを許さない。その舞台上に作業ジャンパー姿にコンビニの袋を下げた男が現れる。んでもって自転車に跨った同（男と書いてますけど無論メンバードですからね）。そして踊りのフィニッシュにまで参加してしまつた。

何故にそのようなことをするのか？ 何故に自分たちの作品を汚してしまふのか？ 「あんな達の期待しているようにはさせないよ」黒い笑みを浮かべているWAGね

1さん達の顔が浮かぶ。WAGは観客を突き放す。絶えず期待を裏切つて行こうとする良質の悪意！

印象に残ったシーンがあった。17年前の「素人さんによるサバイバルショー」のフィナーレで使われた曲が、ヴァージョン違いながら今回も使われていた。（本人達は全然意識してなかったが）17年前の作品では、「光を求め、空へ伸びていく」そんなイメージ。それが今回は「満開の花となつて広がっている」ように感じられた。単なる偶然であるうが、まるで17年間かけて花開いた大輪のような印象。不思議な清々しさを感じた。

結成20周年、平均年齢40歳。世間では「不惑」と言うのだろうが、もっとも感わし感つて「惑惑」させて欲しい。おぢちゃん



演劇空間 スペースベン

八戸市柏崎1-11-8
 ☎ 0178-43-9876
 FAX 050-3588-8350
 ☎ 080-6025-0990
 HP <http://spaceben.com/>
 Eメール owner@spaceben.com
 ※特別番組以外全て午後7時30分～、料金/一般400円 高校生以下100円(当日100円増)
 ※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

Friday Amusement Negative Shop

- 2月1日(730回)
 [一人芝居二本立て]
 タイトル:たった一人の戦争
 作:加藤健太郎/演出:加藤健太郎、安達良春
 出演:安達良春
 タイトル未定
 作:沼沢豊起/出演:田中勉
- 2月8日(731回)
 八戸ファンタジイ出稼ぎ公演
- 2月15日(732回)
- 2月22日(733回)
- 2月29日(734回)
 タイトル:たった一人の戦争
 作:加藤健太郎/演出:加藤健太郎、安達良春
 出演:安達良春
 タイトル未定
 作:沼沢豊起/出演:田中勉

2月号好評発売中!

●今月のテーマエッセイ「こだわり」

脚の行方……………高橋寛子
 「こだわ」を探す……………零石耕一
 B級のススメ……………熊谷実香
 「あざーす」……………佐藤丘
 星、いくつ……………中里めぐみ
 日曜の朝食は……………仁科源一

八戸の月刊誌

うまねこ

Heehino Monthly LITERARY

2

月号 2008 510号

●新春インタビュー
 フリーアナウンサー
 小笠原ちえ子さん(29歳)に聞く

頭がいい 読物満載

毎月ご愛読ありがとうございます

発行所/うみねこ出版社
 八戸市六日町10 いわとくパルコ3F
 TEL・FAX 0178-44-6636